

緑の風 NEWS



JR東労組



JR東労組ホームページ

East Japan Railway Workers' Union 2026年 3月12日 No.83

職場の努力が報われない!! JR東労組は制度改正によるベアの抑制を認めない!!

26春闘において、JR東労組は、職場の奮闘により過去最高の収益となった営業収益に基づき、生活の維持向上を考慮したベア18,000円を申し入れましたが、会社はベアを「能力昇給区分2と同一の額(3,271円)」と回答しました。

また、「賃上げ」として、「能力昇給分3,271円」「ベア分3,271円」「制度改正分14,418円」「制度改正に伴う各種手当等の引き上げ22,165円」として合計43,125円の賃金引き上げだと回答しました。



【第3回交渉での主な組合の主張】

- 会社は団体交渉の中で財布は一つと述べているが賃上げの要素は異なる。参考資料でも職務能力給の引き上げとして、「能力昇給分」と「職務能力改定分(ベア分)」と「制度改正分」と3つに分かれている。

「能力昇給分」は能力昇給の平均だ。「制度改正分」は「様々な役割、多様な働き方を担う事を前提(会社回答)」とした増額である。

「職務能力給の改定分(ベースアップ分)」は、会社から「中長期的な経営見通しを考慮し、環境の変化に対応するために生産性の向上、これに対する社員の貢献、これらの成果配分の観点を中心に業績動向、物価等の経済動向、取り巻く社会環境等、様々な要素を踏まえつつ総合的に勘案して決定する」と回答があった。そのため、JR東労組は職場での奮闘や好調な業績、経済状況等を議論して18000円を要求してきた。その職場の努力、成果配分としてのベースアップがたったの3271円という回答なのか。

- 昨年のベアと比べ4分の1だ。「職場の奮闘や働き」「生産性の向上」「業績」が4分の1なのか!「新人事賃金制度の処遇改善」によって、ベースアップが抑制されたとか捉えられない。人事賃金制度で賃上げを行うのだからいいだろうといった考えなのか!

職場の努力・生活維持向上分として
JR東労組の要求 ベア18000円

能力昇給 3,271円	ベースアップ 3,271円	【組合の主張】制度改正を理由にベアが抑制された!
		制度改正(予定)による職務能力給引き上げ 14,418円
← ベア回答 →		

【第3回交渉での主な会社の主張】

- 職務能力給の引き上げ、役割遂行賃金の引き上げについては、ベースアップのみならず、能力昇給や処遇改善も含め総体で検討している。その中で今でき得る最大限の回答をしている。
- この部分を何%という事ではない。最終的には社員の職務能力給がどれくらい引き上げるのかである。

職場の努力に報いない経営姿勢を突破するためにJR東労組に結集しよう!